



## 第2回 避難訓練を行いました

秋晴れに恵まれた23日(月)に、第2回避難訓練を実施しました。今回は、調理室からの出火を想定した訓練を行い、野球場脇駐車場へ避難しました。

火災等で避難する場合、『お、は、し、も』の約束を守ることが基本としています。また、具体的な行動として、避難開始時に扉や窓を閉めること、火元と煙を避けて整然と避難すること、煙に対して低い姿勢をとることが求められます。生徒たちにとって様々な危機に対して「自分の命は自分で守る」ための訓練の1つとなりました。



教職員による通報訓練も同時に実施



### 中学生の「税についての作文」 ○本荘由利税務関係団体協議会長賞

#### 税金で支えられる社会

○○ ○○

私は、税金に無関心だった。私が生まれる前からある消費税という制度。何のためらいもなく定価と少しのお金を払うことが私たちの日常だった。その少しのお金は何のために払わなければならないのか、疑問に思う暇もないほどに日常にとけ込んでいた。そんな日常にあるニュースが飛び込んできた。

「政府は消費税を10%に引き上げることを確認しました。」

私は、この時初めて税の存在に目を向けた。元々が8%だったこともあり、たったの2%しか変わらないじゃないか、政府は意味のないことをするなど当時は思っていた。しかし、今ではそのたった2%の違いが大切だと気付くことができた。少子高齢化が進む日本の社会において、年金や医療などの社会保険の財源を確保できるように税率を上げたことは、日本の未来を守るための最善の選択だったと思う。税金を私たちの未来のために使われていることを社会の授業を通して学ぶことができた。そして税金は私たちが毎日通っている学校にもたくさん使われていることを知ることもできた。例として、授業を行うために必要不可欠な黒板とチョーク、私たちが快適に授業を受けるための机や椅子などがあげられる。そして一番大切な教科書、これらすべてが税金でまかなわれている。他にもたくさんの備品が私たちが納めた税の一部なのである。そう思うと、たくさんの人の思いが税金を通してつながり社会を良くしていることに喜びを感じている。顔も知らない、どこか離れたところにいる人も税金を納め、自分自身も税金を納め、そうやって社会を支え合っている。私もたくさんの人に支えられ、その人たちも大勢に支えられている。だから、物を大切に扱い、それと同時に感謝しなければならないと強く思った。

今、私が納めている税金は、消費税のみである。私が大人になるにつれて納めなければならない税金は格段に増えていく。今ではさほど負担を感じていないが、所得税、住民税、固定資産税などと、将来的にはたくさんの税金を納めなければならない、時には負担を感じ、不満をこぼしてしまうこともあるかもしれない。けれども、社会の一員として当たり前、当たり前のことを私たちが子どもの頃に教育の支援を無償で受けさせてもらえたことに感謝し、次の世代が安心して教育を受けさせてもらえるように納税の義務を果たしたいと思った。私は、今年中学校を卒業して、義務教育が終わる。9年間もの間、無償で教育を受けさせてもらえた。私はとても感謝している。だからこそ、勉強を頑張れたし、税についての理解を深めることもできた。これは日本の充実した教育制度と国民の納めた税金によって実現できたものであると思う。今の社会は税金によって成り立っていると看做しても過言ではない。私たちの暮らしと税金がよりよい関係を築けていけることを願う。